

幹事さんへ
宴会で
実践しよう!

なくそう! 食品ロス!

さんまるいちご

みんなで3015運動

「3015運動」とは、立山の標高3015mにちなんで、
30と15をキーワードにした富山型食品ロス削減運動です。
幹事さんは、食べ残しのないように出席者の皆さんに呼びかけをお願いします!



幹事さんの呼びかけをお願いします!



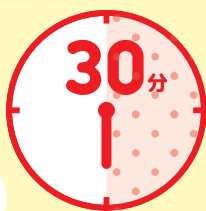
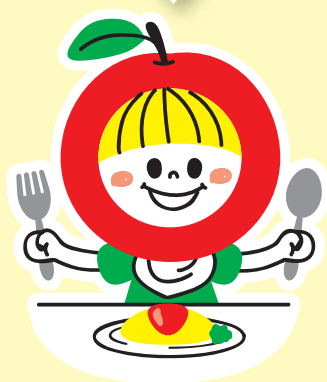
まずはお店に相談して適量を注文
宴会の目的や出席者の年齢・男女比などを
お店に伝え相談しましょう。

はじめの挨拶で

30分間は席を立たずに
できたての料理を
楽しみましょう!

宴会終了の15分前

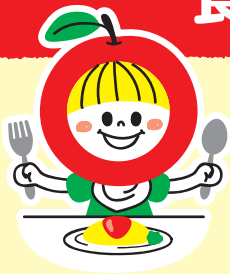
自分の席に戻って
もう一度料理を
楽しみましょう!



幹事さんからの呼びかけ、出席者の皆さんの心がけで食べ残しは大きく減ります。
料理を味わい、食べ残しゼロへのご協力をお願いします。

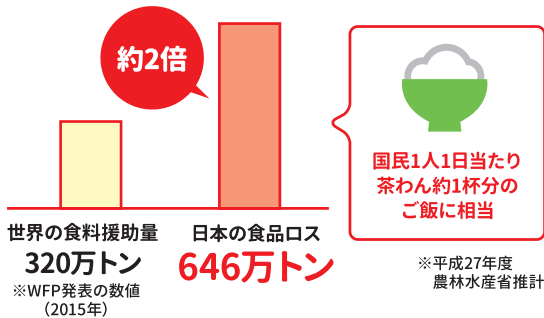
食ロスを減らそう!

食べ物の「もったいない」を減らそう!



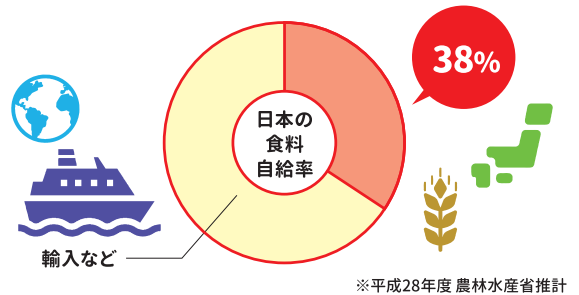
食品ロスを減らすためには、私たち一人ひとりが現状を知り、「もったいない」を意識して、日ごろの生活を見直す必要があります。まずは身の周りのできることから、「食ロスゼロ」の取組みを始めてみませんか。

食品ロスとは?



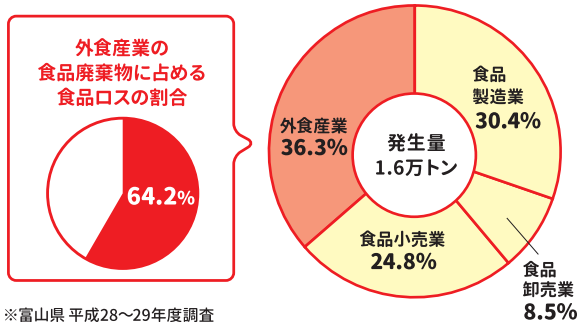
食品ロスとは、**まだ食べられるのに捨てられている食品のこと**です。日本における年間の食品廃棄物等は、約2,842万トン。このうち、食品ロスは約646万トンもあります。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量(320万トン)の約2倍にあたります。

なぜ食品ロスの削減が必要なの?



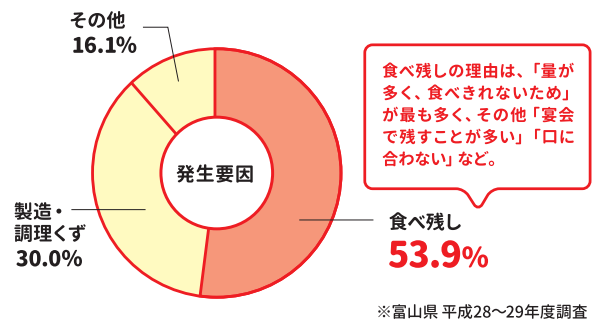
日本の食料自給率は現在38%(平成28年度)で、大半を輸入に頼っています。**私たちは多くの食べ物を輸入しながら、大量に捨てているのです。**世界の人口全体での食料の確保が課題となっている中、日本でも食べ物の無駄を見直し、食品ロスを減らす必要があります。

富山県内の業種別食品ロスの内訳



富山県内の食品関連事業者から出る食品ロス(事業系食品ロス)1.6万トンのうち、**36.3%が外食産業から発生しており、最も多くなっています。**また、外食産業の食品廃棄物に占める食品ロスの割合は64.2%と非常に高く、食品ロス削減に外食産業での取組みは欠かせません。

外食産業における食品ロスの内訳



外食産業から発生する食品ロスを削減するには、**発生量の半分以上を占める食べ残しを減らすことが重要です。**そのために消費者はもちろん、外食産業の事業者さんも量を選択できるメニューの提供や食べ残しを減らすためのお客様への働きかけが必要です。

とやま食ロスゼロ作戦とは、消費者と事業者が力を合わせて、食品ロスを減らそうとする取組みです。



農林水産部 農産食品課

TEL/076-444-3282 FAX/076-444-4410
とやま食ロスゼロ作戦 <http://foodlosszero.jp/>



とやま食ロス
ゼロ作戦

使いきり●食べきり●すっきり●エコライフ